日本語教育能力検定試験CBT画面・操作説明

① 全体の流れ

② 試験画面

③ 各画面と基本操作

④ 便利な機能

※この動画の複製、引用、無断転載、改変、二次利用等を固く禁じます。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本操作

※この動画の画面デザイン、問題数、形式等は、実際の試験とは異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「試験開始」の画面

③ 各画面と基本操作（ 試験開始 ）



「試験開始」部分の基本の操作を説明します。



最初に「試験開始」の画面が表示されます。



①試験名が「日本語教育能力検定試験」であることを確認してください。試験名が正しいことを確認したら、②「試験開始」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。



次に「試験内容の確認」の画面が表示されます。



①「姓」「名」「試験名」を確認してください。内容が正しいことを確認したら、②「✓確認」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。



次に「試験全体の注意事項」が表示されます。全ての項目を読み終わったら、画面右下の「開始＞」ボタンを左クリックしてください。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「試験１の説明」の画面

③ 各画面と基本の操作 （「試験１の説明」の画面）

画面・操作方法、
解答時間・問題数等
の説明のページ

試験開始

試験１　90分

休憩　10分

画面・操作方法、
解答時間・問題数等
の説明のページ

試験２　約100分

試験終了・アンケート

終了

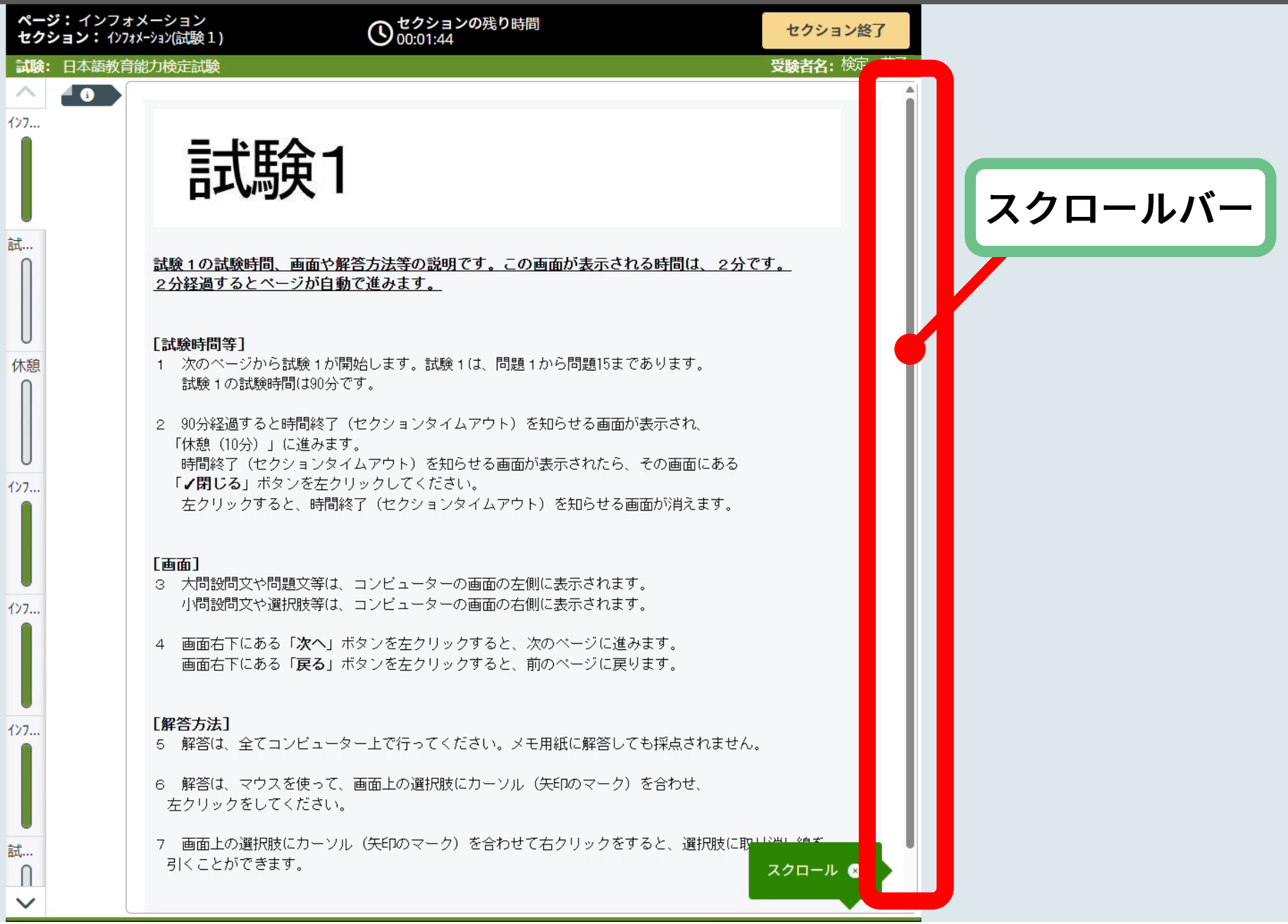
次から「試験１」が始まります。



「試験１の問題」が始まる前に、「試験１の説明」の画面があります。実際の試験では「試験１の説明」の画面が表示されるのは「２分」です。２分の間によく読んでください。２分経過すると、自動で「試験１の問題」に進みます。



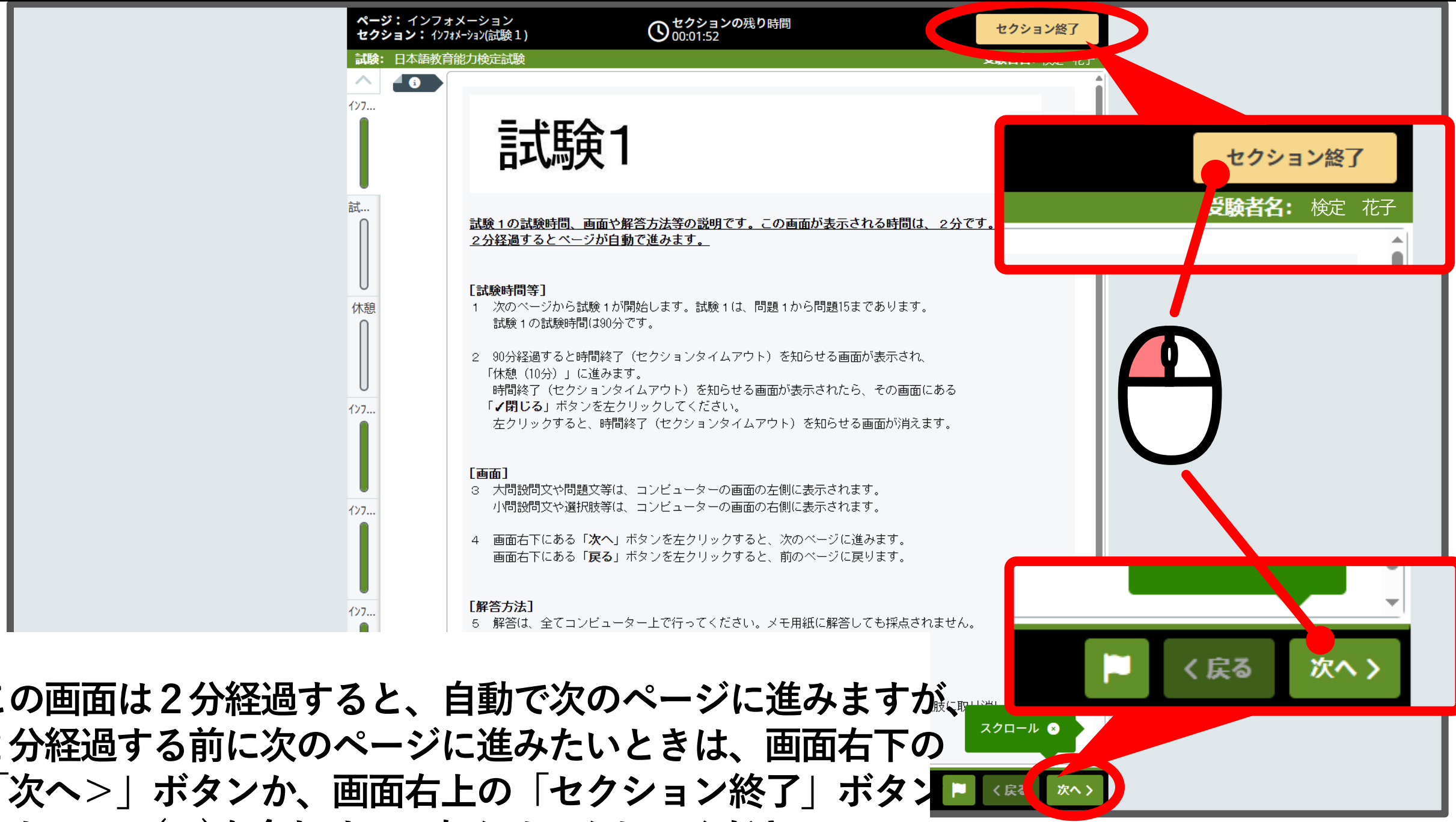
残り時間は、画面上部の「セクションの残り時間」で確認できます。



画面の上下を動かしたいときは、画面の右端の「スクロールバー」を使います。



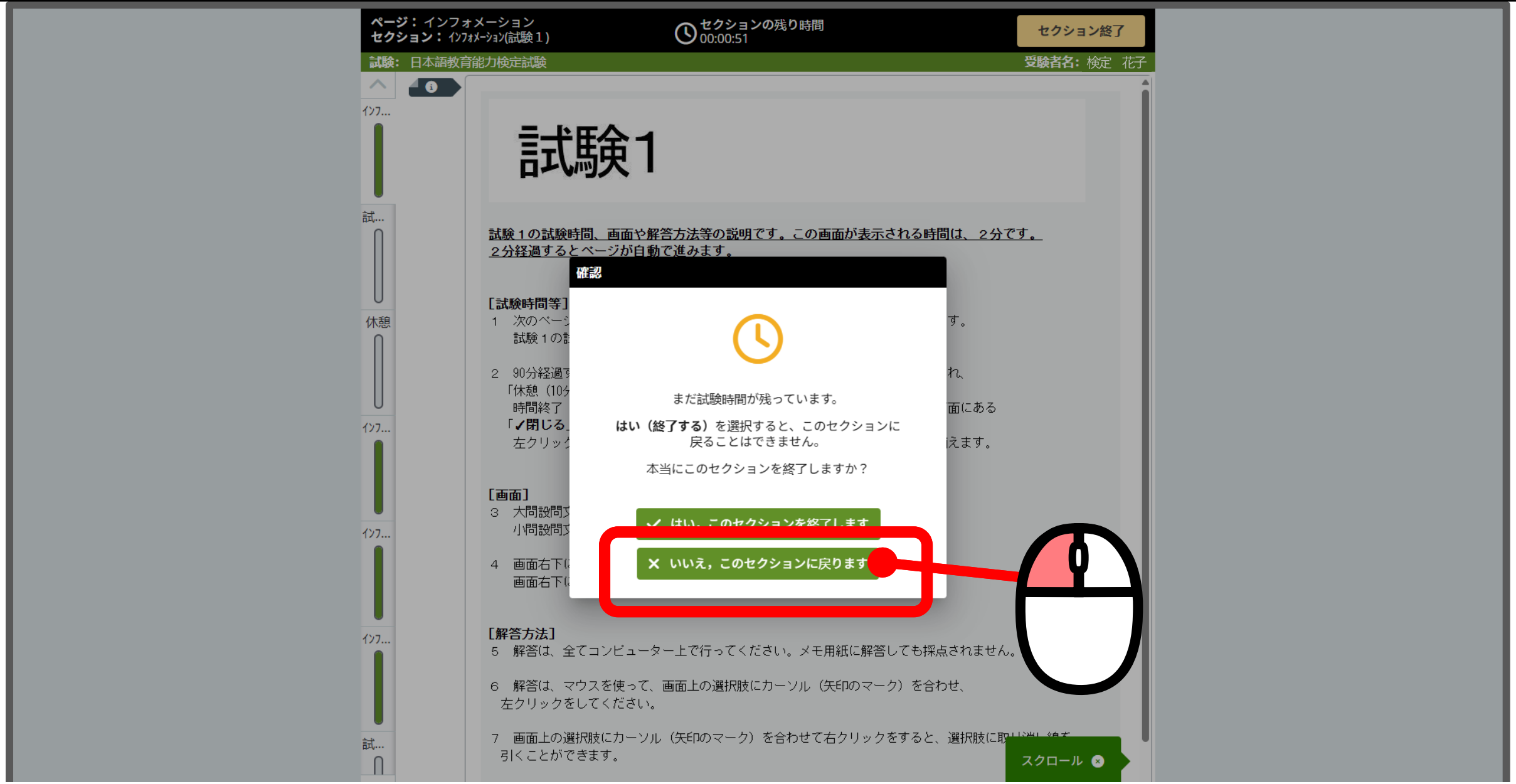
①スクロールバーのグレー部分にカーソル(↖)を合わせて、
②マウスの左ボタンを押したまま、下や上方向に動かしてください。



この画面は２分経過すると、自動で次のページに進みますが、
２分経過する前に次のページに進みたいときは、画面右下の
「次へ＞」ボタンか、画面右上の「セクション終了」ボタン
にカーソル(↖)を合わせて、左クリックしてください。



クリックすると、「まだ試験時間が残っています」という表示が出ます。
次のページに進む場合は、「✓はい，このセクションを終了します」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。（左クリックするとこの画面に戻ることはできません。）



このページに留まる場合は、「×いいえ，このセクションに戻ります」ボタンを左クリックしてください。（ほかの「説明」のページも同じです。）

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「試験１の問題」の画面

③ 各画面と基本の操作 （「試験１の問題」のページ）

画面・操作方法、
解答時間・問題数等
の説明のページ

試験開始

試験１　90分

休憩　10分

画面・操作方法、
解答時間・問題数等
の説明のページ

試験２　約100分

試験終了・アンケート

終了

「試験１の問題」の問題のページの画面や操作の説明をします。



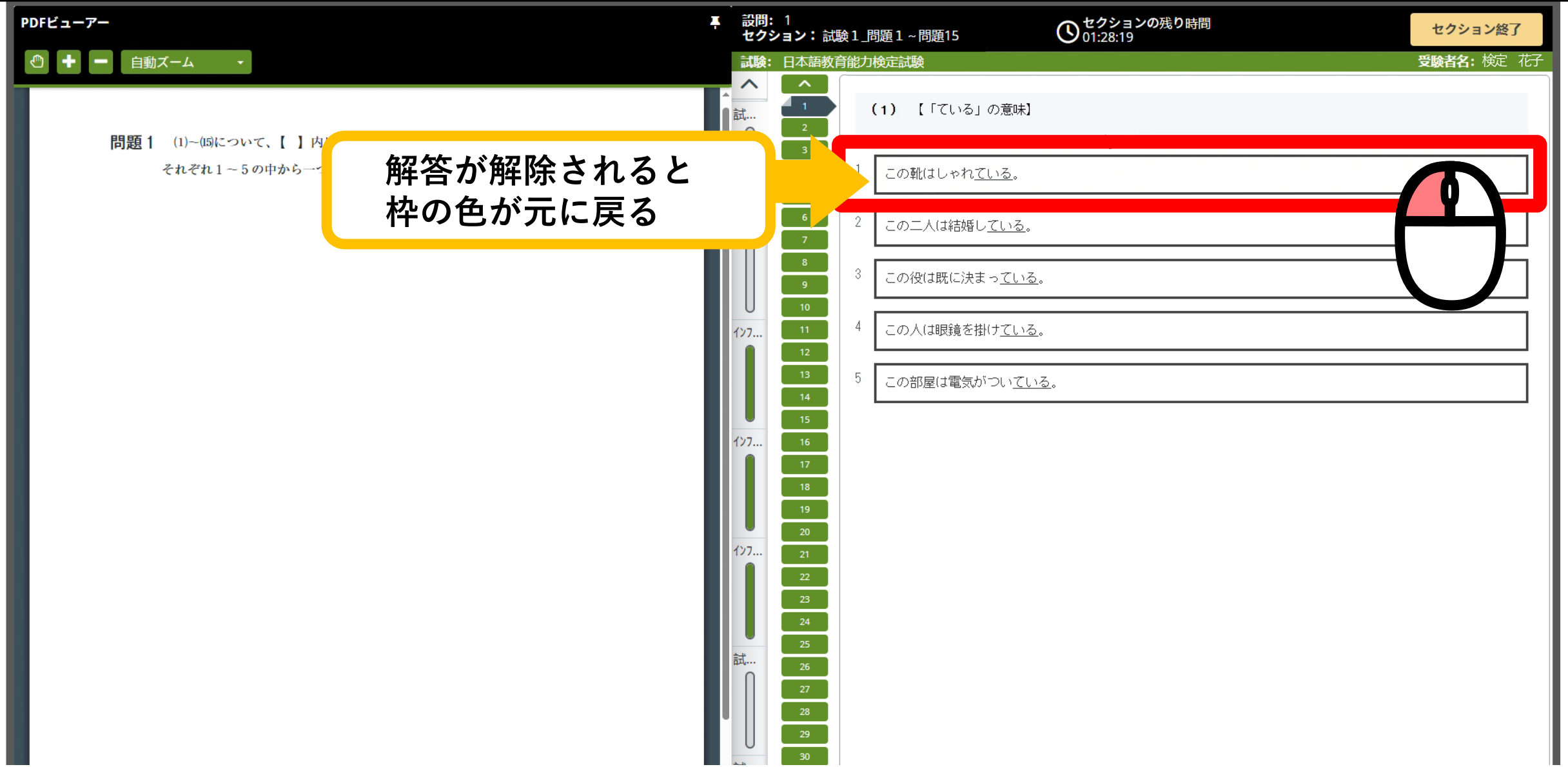
問題が始まったときに「セクションタイムアウト」が表示されていたら、「✓閉じる」ボタンにカーソル(↖)を合わせて、左クリックしてください。表示が消えます。

解答方法

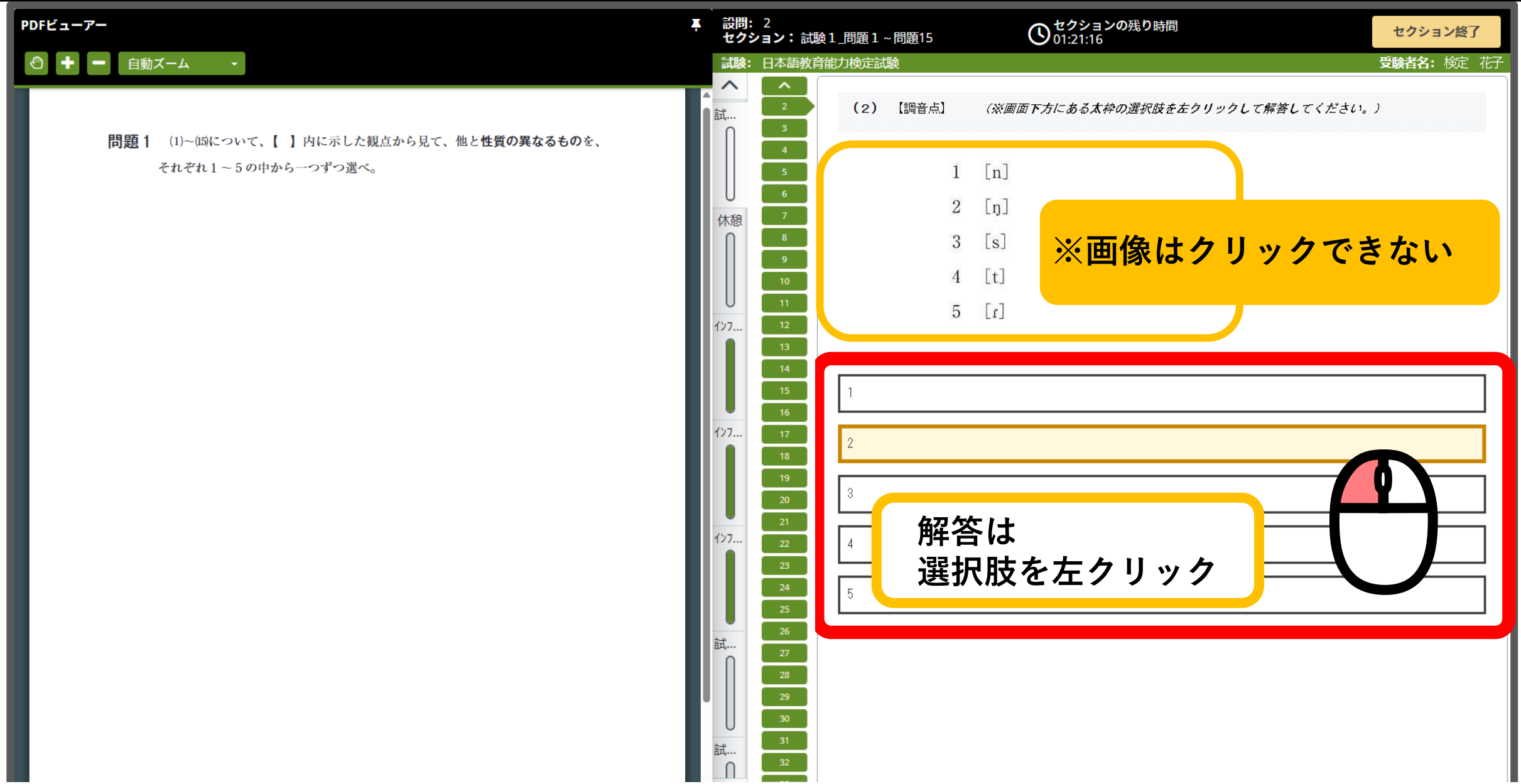
※試験１、試験２共通



解答するときは、該当の選択肢にカーソル(↖)を合わせて、左クリックしてください。
解答すると、選択肢の枠の色がオレンジ色、設問番号ボタンがグレーになります。



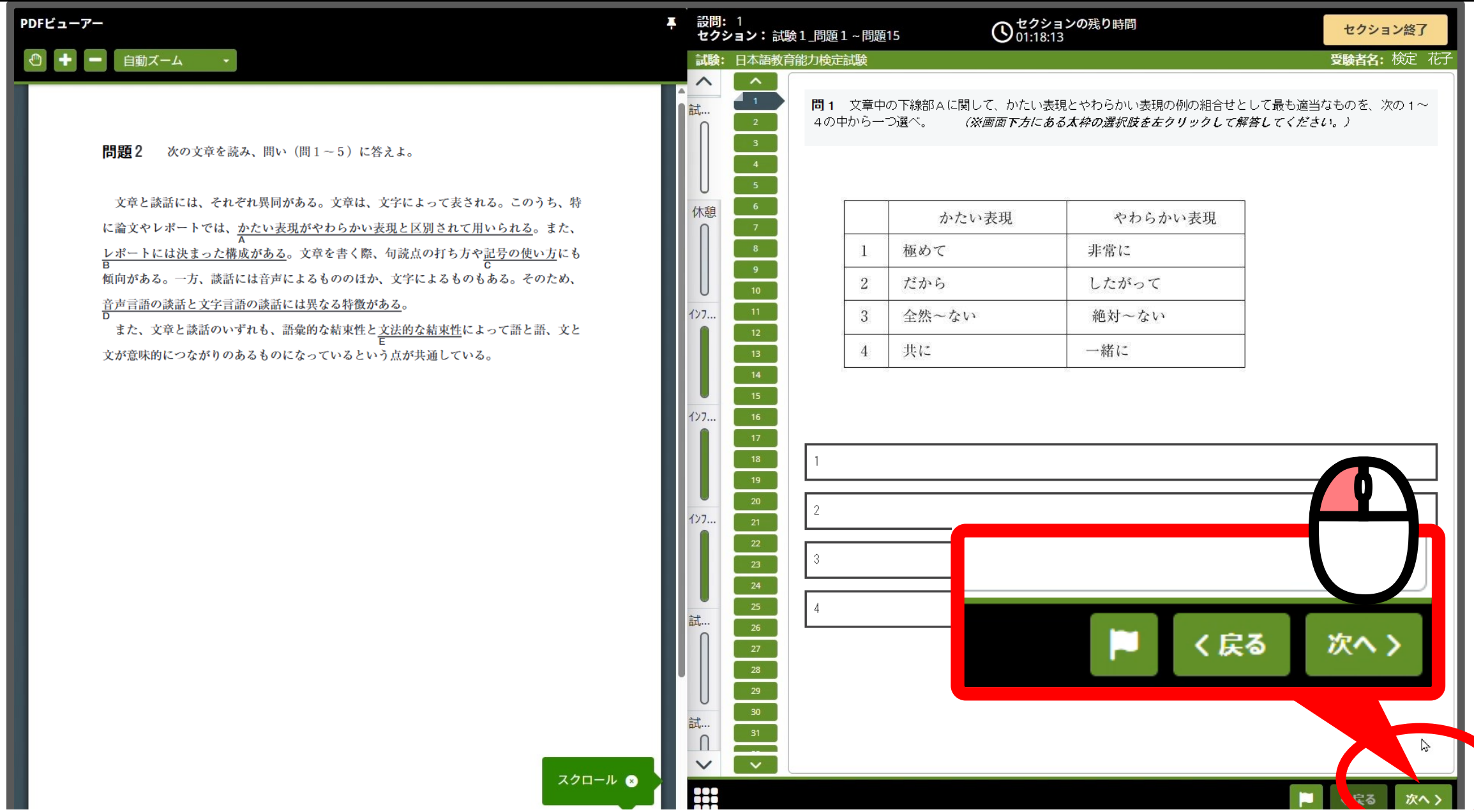
解答を取り消したいときは、もう一度カーソル(↖)を合わせて左クリックをすると、解答を取り消すことができます。



小問設問文と選択肢の間に画像があるタイプも、画像部分ではなく、選択肢にカーソル(↖)を合わせて、左クリックして解答してください。

ページの遷移

※試験１、試験２問題７以降 共通



次のページに進むときは、画面右下にある「次へ ＞」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。

PDFビューアー

自動ズーム

問題１　(1)~(15)について、【　】内に示した観点から見て、他と**性質の異なるもの**を、それぞれ１～５の中から一つずつ選べ。

スクロール

設問：３
セクション：試験１_問題１～問題15

セクションの残り時間
01:18:03

セクション終了

試験：日本語教育能力検定試験

受験者名：検定　花子

試...
休憩
インフ...
インフ...
インフ...
試...
試...

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33

（1）　【「ている」の意味】

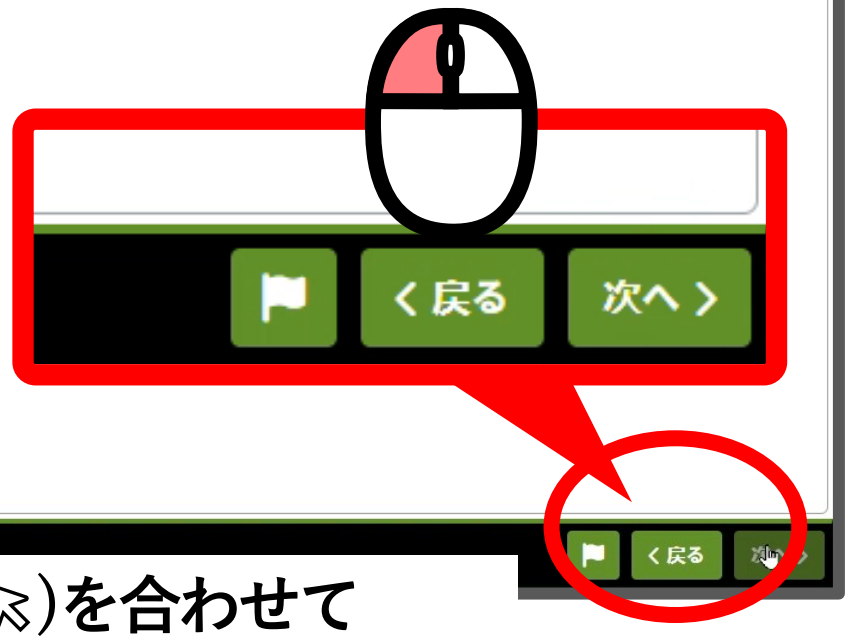
1　この靴はしゃれている。

2　この二人は結婚している。

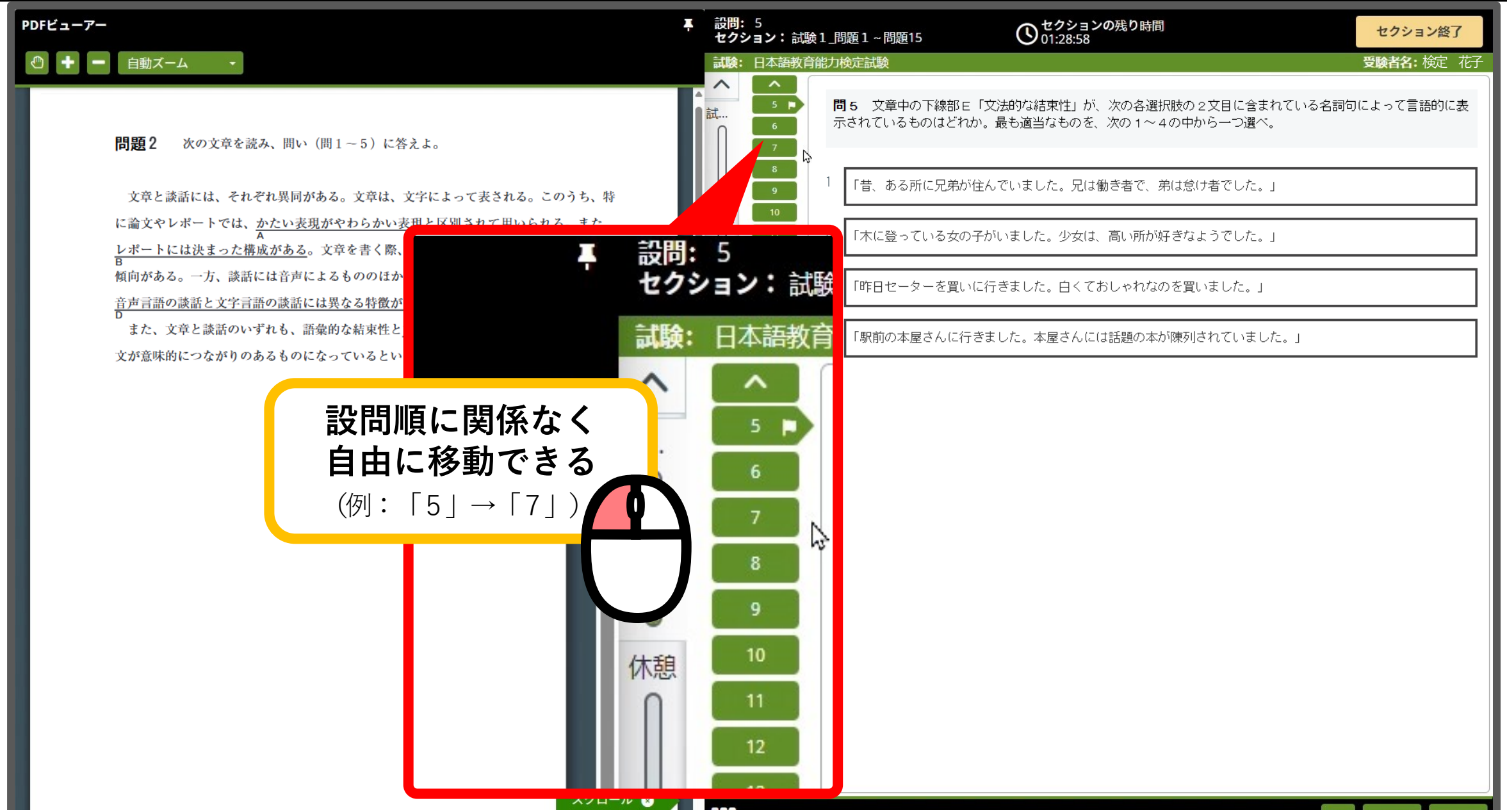
3　この役は既に決まっている。

4　この人は眼鏡を掛けている。

5　この部屋は電気がついている。



前のページに戻るときは、「< 戻る」ボタンにカーソル(↖)を合わせて
左クリックしてください。



画面中央の「設問番号」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックしても、ページを移動することができます。

「試験１」から「休憩」への遷移

「試験１」から「休憩」への遷移

試験１の試験時間は90分 です。

90分経過すると、**自動で**「試験１」が終了し「休憩(10分)」に進みます。（ 試験1には戻れません。）

90分経過するまでは、次の「休憩」には進めません。

解答が全て終わっても時間になるまで待ってください。



まだ時間が残っているときに、画面の右上の「セクション終了」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックすると、「確認」の画面が出てきます。



「確認」の画面の「×戻る」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックして、元のページに戻ってください。

日本語教育能力検定試験 CBT

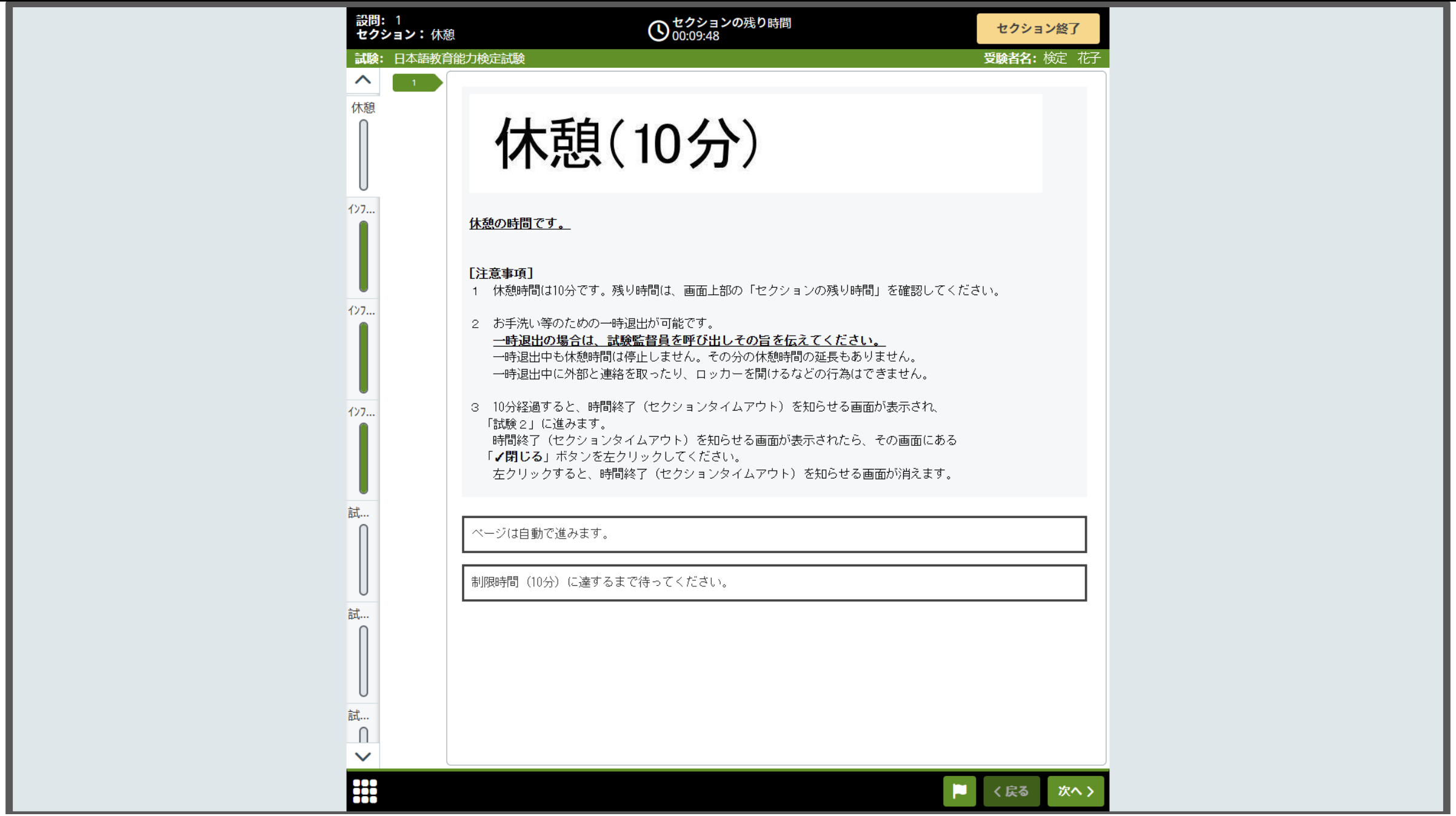
③ 各画面と基本の操作

「休憩」の画面

③ 画面説明（「休憩」）



「試験１」が終了すると「休憩」が始まります。



「休憩」は10分です。10分経過すると、**自動で次のページに進みます。**



休憩時間の残り時間は、画面上部の「セクションの残り時間」で確認してください。



10分経過していないときに、画面上部の「セクション終了」ボタンや画面下部の「次へ＞」ボタンを左クリックしても、「まだ試験時間が残っています」という画面が表示され、次へは進めません。



このような画面が表示されたら、「× 戻る」ボタンにカーソル(↖)を合わせて、左クリックして休憩のページに戻ってください。

【「休憩」の注意事項 】

休憩中は、お手洗い等のための一時退出が可能です。

一時退出するときは、**必ず机上のブザーで試験監督員を呼び出して**、その旨を伝えてください。そのあとは試験監督員の指示に従ってください。

自由に立ち上がったり、席から離れたりすることはできません。

また、外部に連絡を取ったり、ロッカーを開けることはできません。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「試験２」の構成

③ 各画面と基本の操作 （「試験２」の構成）

画面・操作方法、
解答時間・問題数等
の説明のページ

試験開始

試験１　90分

休憩　10分

画面・操作方法、
解答時間・問題数等
の説明のページ

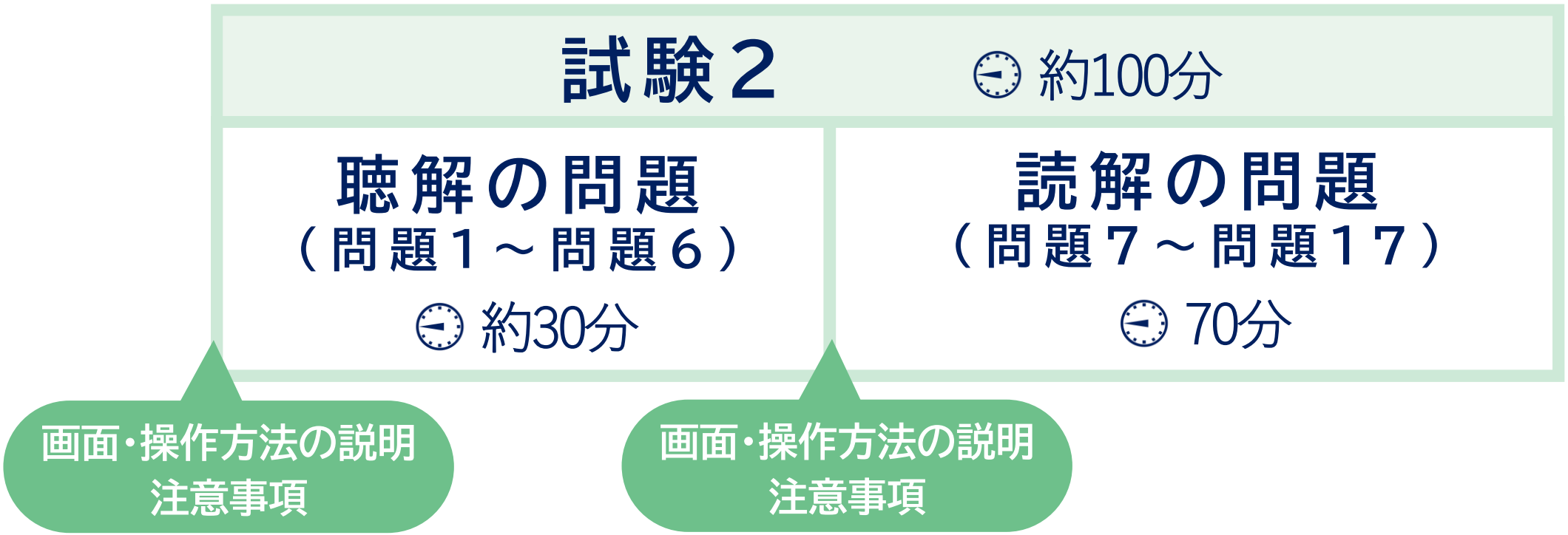
試験２　約100分

試験終了・アンケート

終了

「休憩」が終了すると「試験２」が始まります。

③ 各画面と基本の操作 （「試験２」の構成）

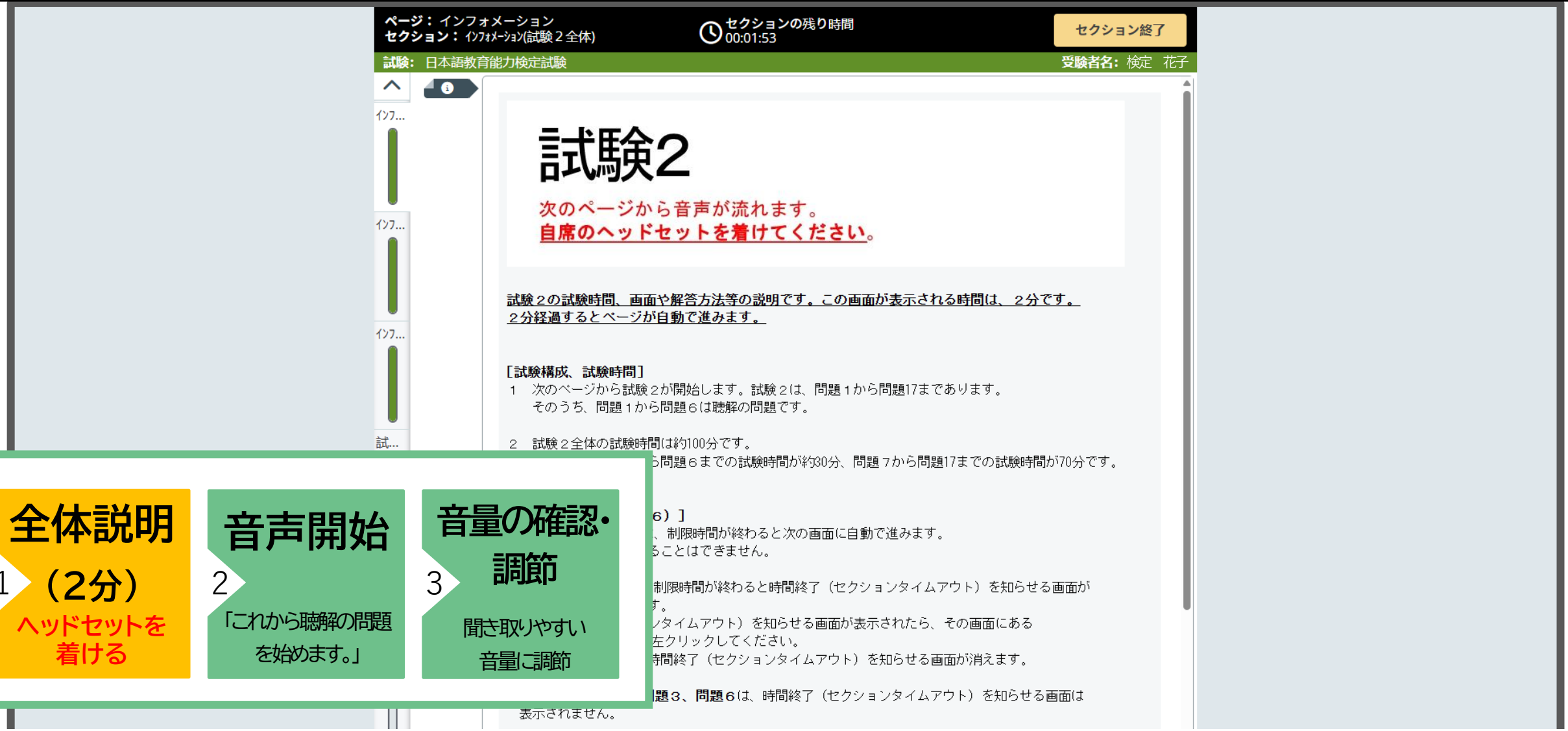


「試験２」は「聴解の問題」と「読解の問題」があります。
「聴解の問題」が始まる前と「読解の問題」が始まる前にそれぞれ「説明」の画面があります。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「試験２全体の説明」の画面

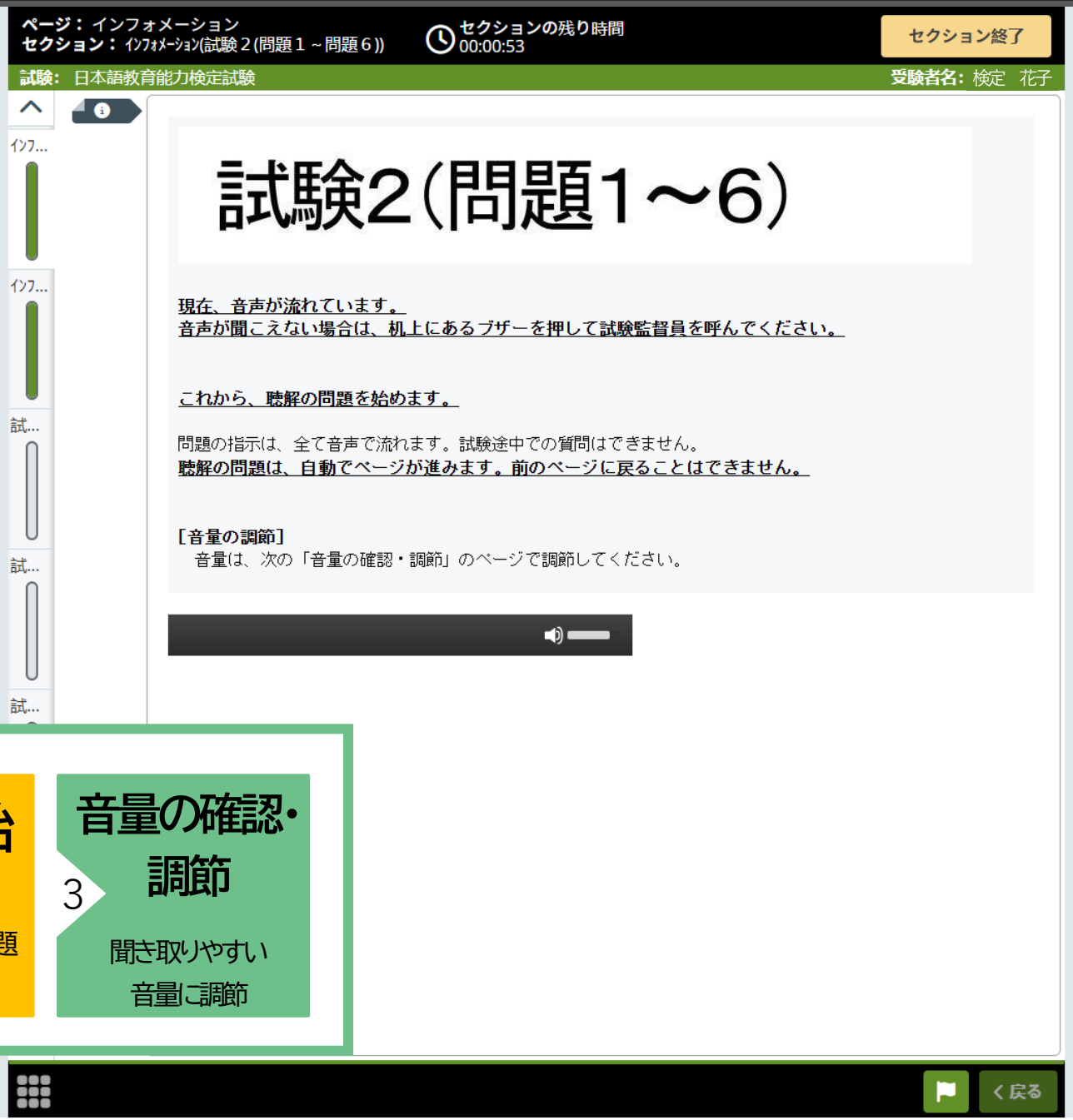


最初は「試験２全体の説明」です。表示される時間は「２分」です。
２分経過したら自動で次のページに進みます。次のページから音声が始まりますので、
２分の間に備付けのヘッドセットを着けてください。説明の画面にも記載があります。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「試験２(聴解の問題)の説明」の画面



全体説明
1 （2分）
ヘッドセットを着ける

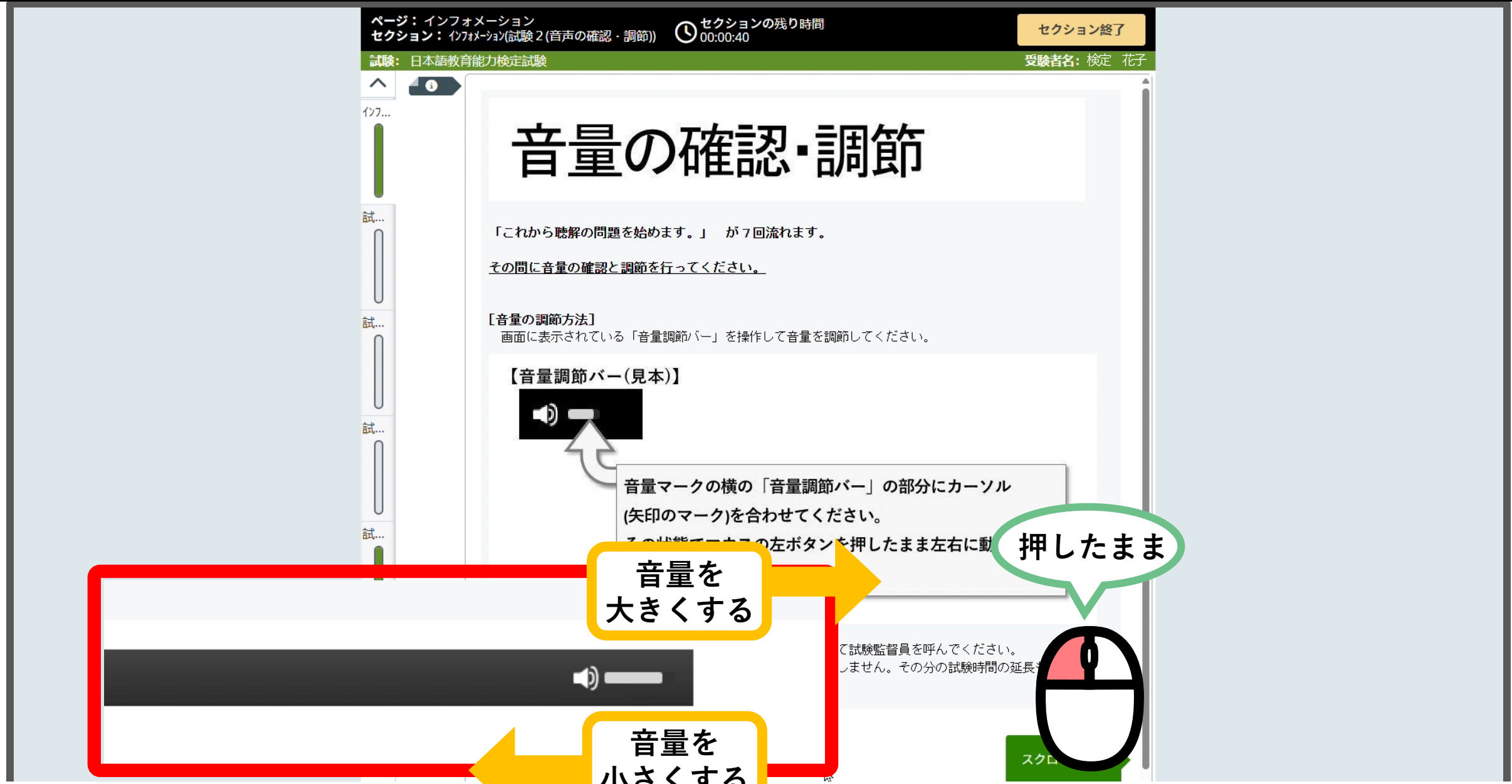
音声開始
2
「これから聴解の問題を始めます。」

音量の確認・調節
3
聞き取りやすい音量に調節

この「試験２(問題１～６)の説明」から、試験開始のBGMや説明の音声が始まります。



「音量の確認・調節」では、「これから聴解の問題を始めます」という音声が７回流れます。
音声が流れている間に、音量の調節を行ってください。



音量の調節は、「音量調節バー」の部分にカーソル(↖)を合わせて、左ボタンを押したまま左右に動かしてください。音声が終わったら、自動で「試験２問題１」に進みます。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「聴解の問題(問題１～６)」の画面

③ 各画面と基本の操作 （「聴解の問題(問題１～６)」の画面）

試験２　約100分

聴解の問題
（問題１～問題６）
約30分

自動で次に進む「自動遷移」

・前のページに戻って解答できない。

・解答が終わっても自動でページが進むまで待つ必要あり。

読解の問題
（問題７～問題１７）
70分

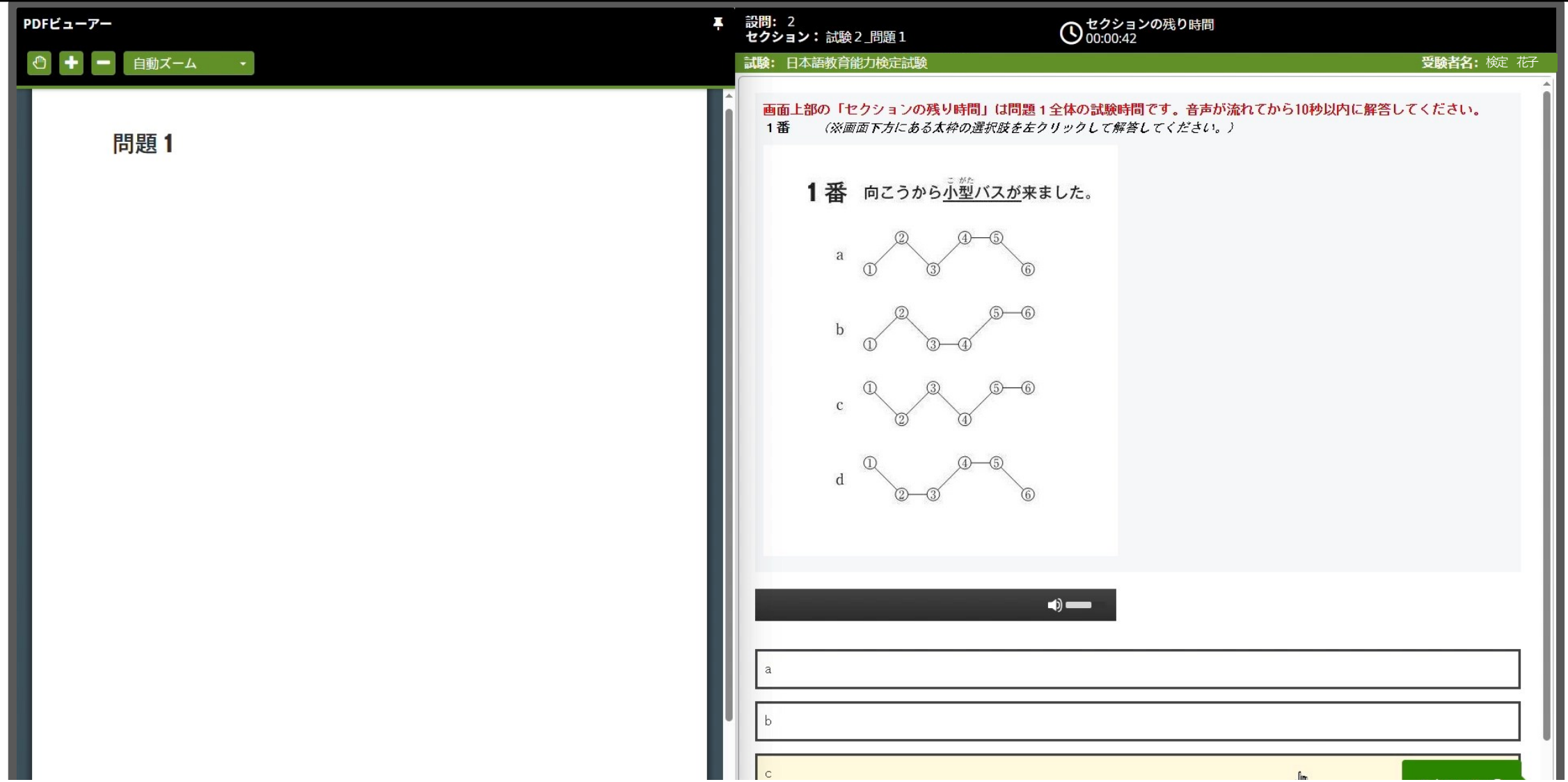
自分で次に進める「手動遷移」

・時間内であれば自由にページを行き来することができる。

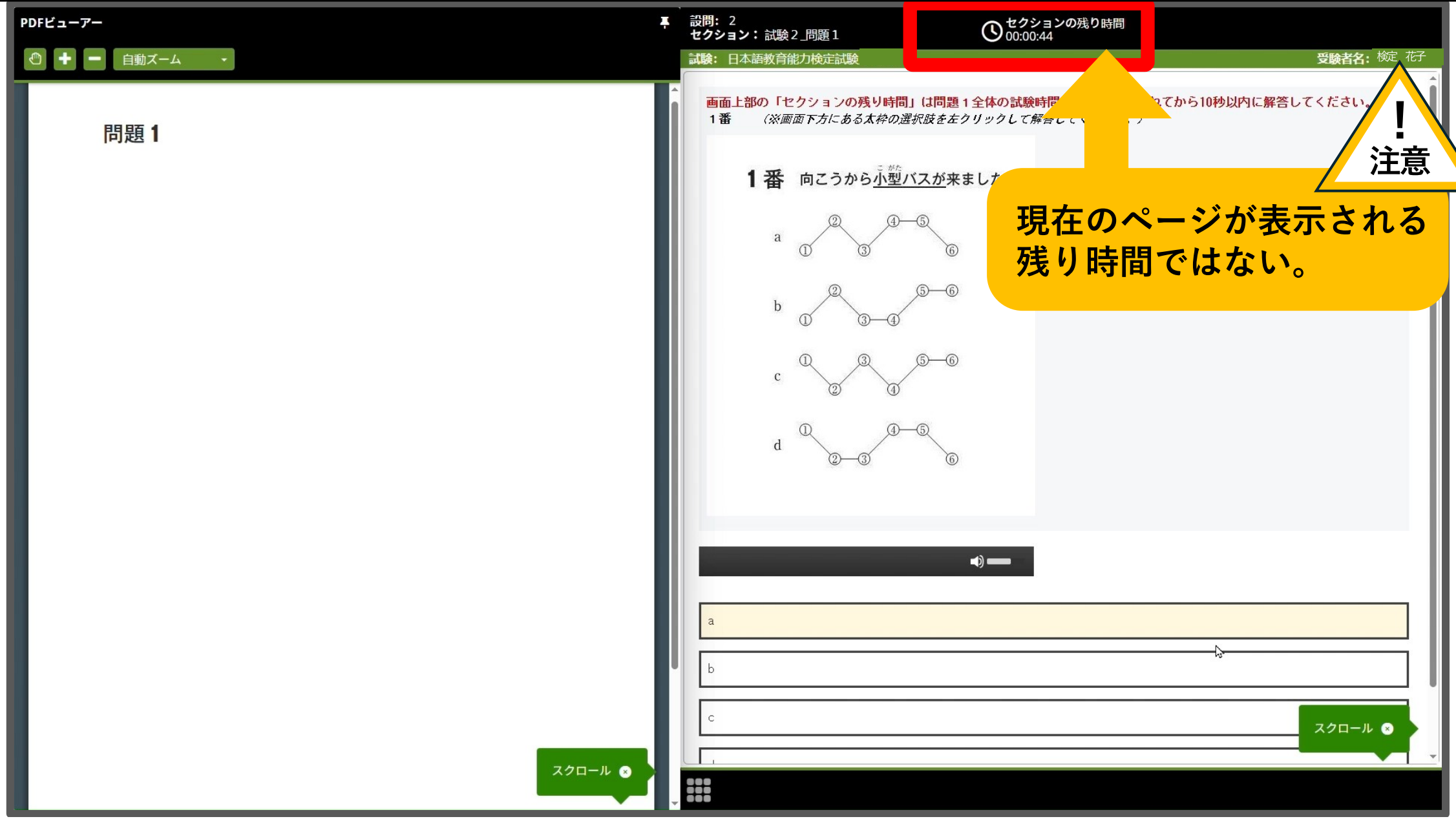
・解答を保留にして次に進んでも、前に戻ることができる。

！注意

試験２の「聴解の問題(問題１～６)」は、音声と連動して自動でページが進みます。
前のページに戻ることはできません。



次のページに進む前に、高いチャイムの音が流れます。
チャイムが終わると自動で次のページに進みます。ページが進む前に解答をしてください。
（解答方法は試験１と同じです。）



画面上部の「セクションの残り時間」は、現在のページの残り時間ではありません。
問題１が終わるまでの時間です。

聴解の問題(問題１～６)の「大問設問文・例」

PDFビューアー

自動ズーム

問題 1

これから、学習者が文を言います。下線を引いた部分について、学習者がどのようなアクセント形式で言ったかを聞いて、該当するものを、選択肢 a 、 b 、 c 、 d の中から一つ選んでください。学習者の音声は、２回繰り返します。

音声が流れてから、10秒以内に解答してください。

問題１は、自動でページが進みます。

前のページに戻ることはできません。

大問設問文

設問: 1
セクション： 試験２_問題１

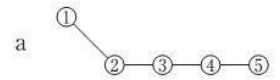
セクションの残り時間
00:02:42

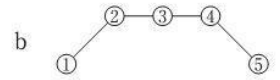
試験: 日本語教育能力検定試験

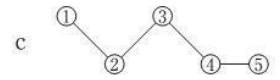
受験者名: 検定　花子

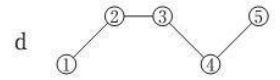
例　（※画面下方にある太枠の選択肢を左クリックして解答してください。）

例　あそこに食べ物があります。

a 

b 

c 

d 

例

a

b

c

d

「例」を解答する
必要なし

スクロール

問題１～６は、それぞれ最初に大問設問文があります。それに加えて、問題１・２・３・６には「例」があります。例の問題には選択肢がありますが、解答する必要はありません。

問題４・問題５の留意点

問題４・問題５の留意点

問題４と問題５は、ほかの聴解の問題と異なる点があります。（解答方法、ページ遷移は同じです。）

【異なる点】

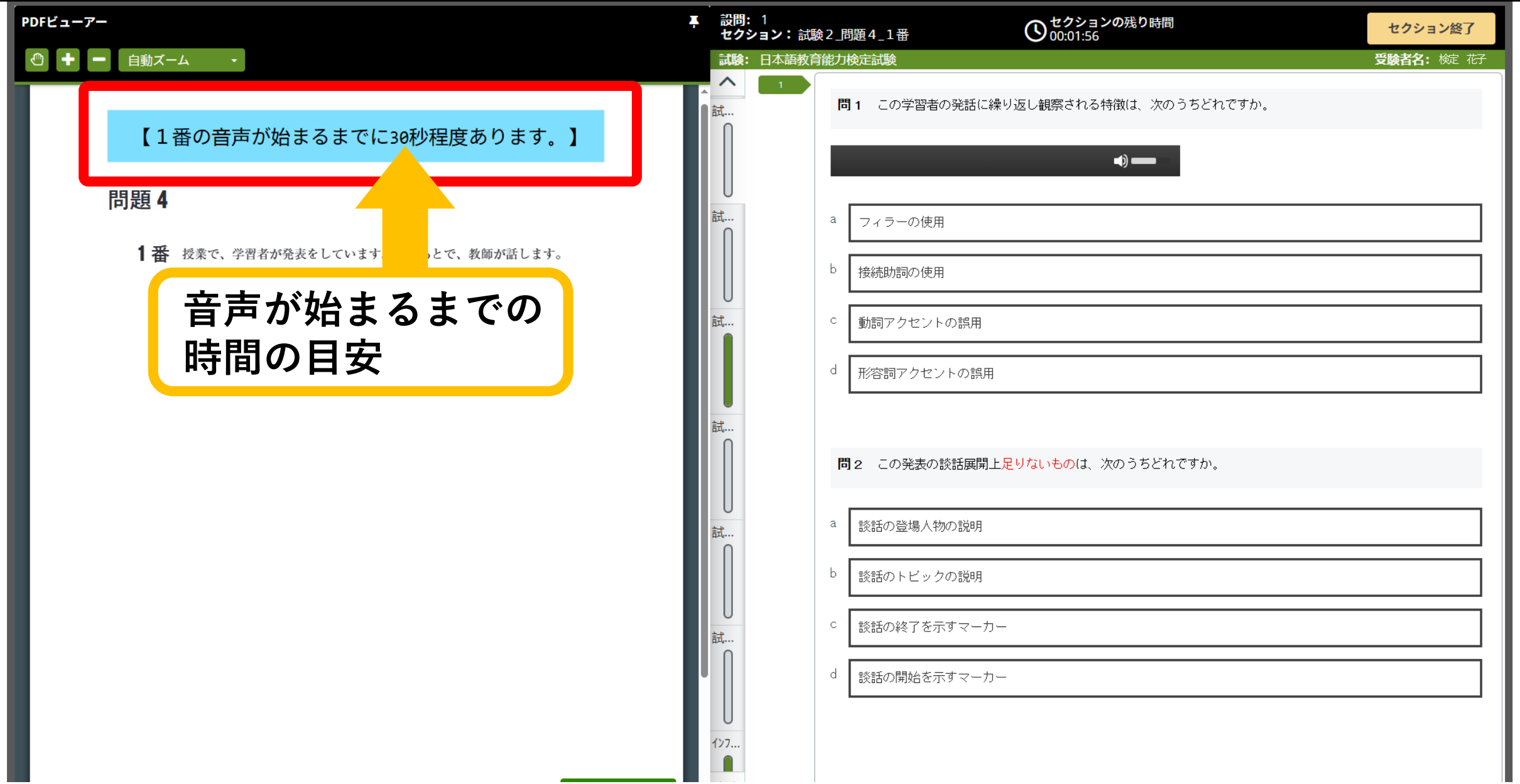
①次のページに進んだときに
「セクションタイムアウト」の表示が出る。

②音声が始まるまでに時間がある問題がある。

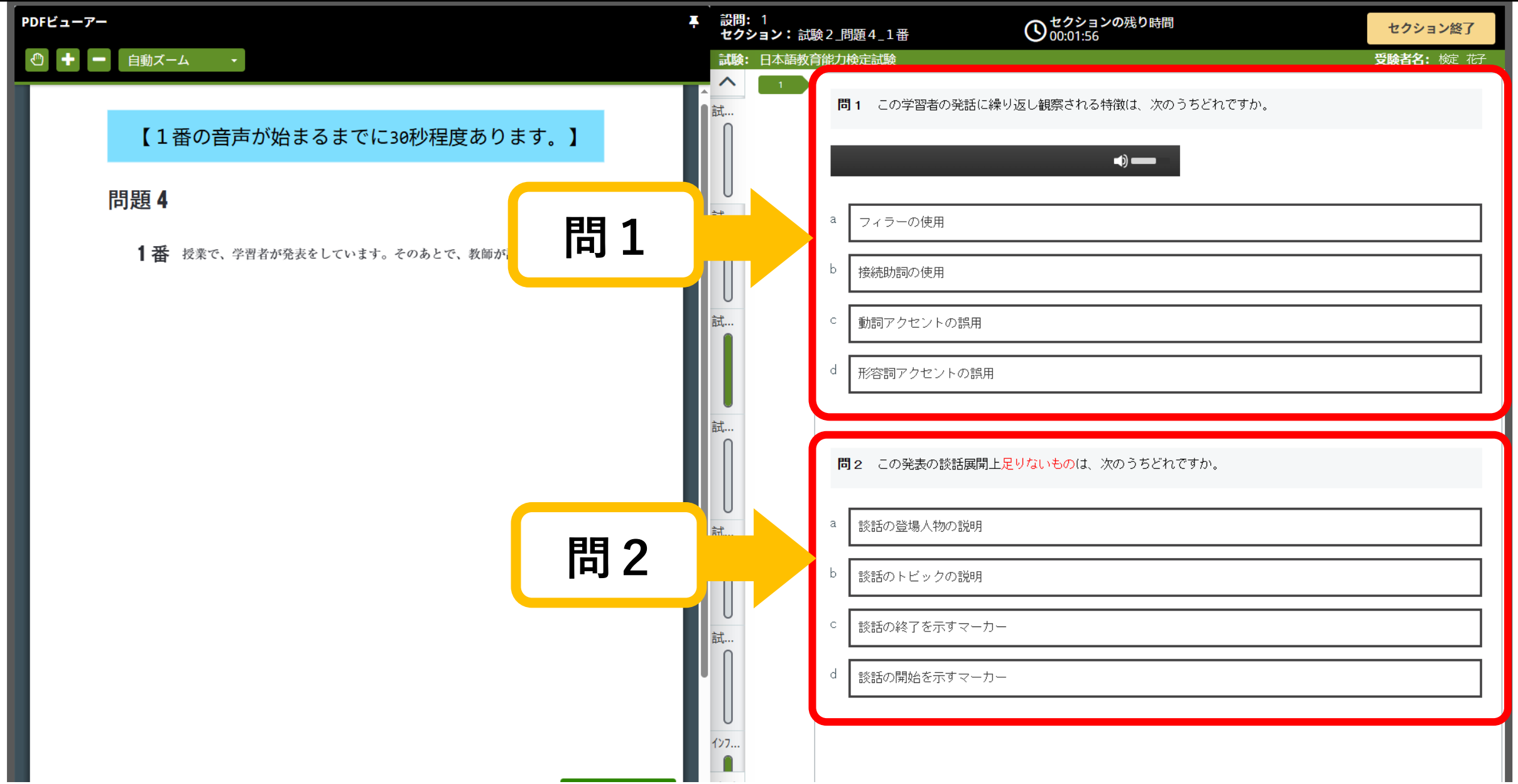
③「問１・問２」が同じページに表示される。



問題４と問題５では、次のページに進むときに「セクションタイムアウト」が表示されます。
「✓閉じる」ボタンにカーソル(↖)を合わせて、左クリックして表示を消してください。



問題によって、音声が始まるまで時間があります。画面の左側に、時間の目安が示されています。

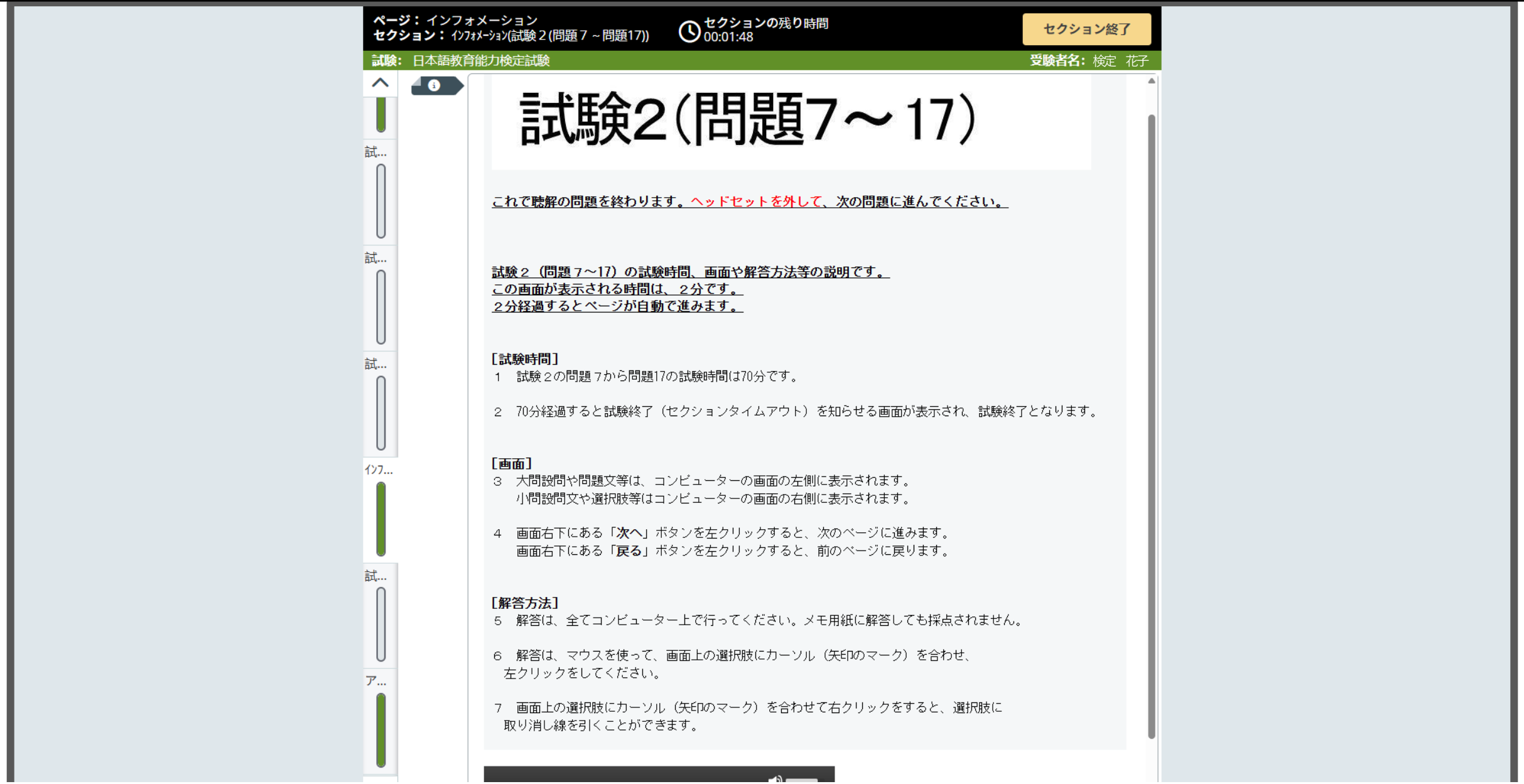


問題は、問１と問２の２問が同じページに表示されます。次のページに進む前に問１と問２を解答してください。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「試験２(読解の問題)の説明」の画面



聴解の問題が全て終了したあとに「試験２(問題７～17)の説明」があります。表示されるのは「２分」です。その間にヘッドセットを外してください。説明の画面にも記載があります。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「読解の問題(問題７～17)」の画面

③ 各画面と基本の操作 （「読解の問題(問題７～17)」の画面）

試験２　約100分

聴解の問題
（問題１～問題６）
約30分

自動で次に進む「自動遷移」

・前のページに戻って解答できない。

・解答が終わっても自動でページが進むまで待つ必要あり。

読解の問題
（問題７～問題１７）
70分

自分で次に進める「手動遷移」

・時間内であれば自由にページを行き来することができる。

・解答を保留にして次に進んでも、前に戻ることができる。

試験２の問題７～17は、自分で次のページに進めます。試験１と同じです。

問題 7　次の文章を読み、問い（問１～５）に答えよ。

「これ・それ・あれ」「この・その・あの」「こう・そう・ああ」など、コ・ソ・アから始まる体系的な語類を指示語と言う。指示語は品詞をまたがるものであり、語形によって代名詞や副詞として機能する(A)。

学習者にとってコ・ソ・アの使い分けは難しく、用法別に整理して理解させる必要がある。現場指示には、話し手と聞き手がそれぞれ異なる領域に属するときの対立型と、領域を共有しているときの融合型(B)という異なる二つのタイプがある。文脈指示においては、指し示したい事柄を話し手がどう捉えているかによってコ・ソ・アが選択される(C)。文脈指示における「この＋名詞」「その＋名詞」は、「この」「その」と名詞が合わさった全体が指示対象に対応する場合と、「この」「その」という指示語の部分だけが指示対象に対応する場合(D)があり、後者ではコ系が使いにくいという制約がある。

そのほか、指示語は真偽疑問文に対する応答表現(E)などにも使われ、分かりやすい文章を構成したり、コミュニケーションを円滑に進めたりするうえでも重要な役割を果たす。

スクロール

問１　文章中の下線部Ａに関して、代名詞と副詞の例の最も適当な組合せを、次の１～４の中から一つ選べ。
（※画面下方にある太枠の選択肢を左クリックして解答してください。）

	代名詞	副詞
1	あちら	そんな
2	あんな	こう
3	その	こんな
4	こちら	そう

1
2
3
4

＜戻る　次へ＞

画面右下にある「＜ 戻る」　「次へ ＞」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックして、ページを移動してください。



画面中央の「設問番号ボタン」にカーソル(↖)を合わせて左クリックしても、ページを移動することができます。

PDFビューアー

自動ズーム

問題７　次の文章を読み、問い（問１～５）に答えよ。

「これ・それ・あれ」「この・その・あの」「こう・そう・ああ」など、コ・ソ・アから始まる体系的な語類を指示語と言う。指示語は品詞をまたがるものであり、語形によって代名詞や副詞として機能する[A]。

学習者にとってコ・ソ・アの使い分けは難しく、用法別に整理して理解させる必要がある。現場指示には、話し手と聞き手がそれぞれ異なる領域に属するときの対立型と、領域を共有しているときの融合型[B]という異なる二つのタイプがある。文脈指示においては、指し示したい事柄を話し手がどう捉えているかによってコ・ソ・アが選択される[C]。文脈指示における「この＋名詞」「その＋名詞」は、「この」「その」と名詞が合わさった全体が指示対象に対応する場合と、「この」「その」という指示語の部分だけが指示対象に対応する場合[D]があり、後者ではコ系が使いにくいという制約がある。

そのほか、指示語は真偽疑問文に対する応答表現[E]などにも使われ、分かりやすい文章を構成したり、コミュニケーションを円滑に進めたりするうえでも重要な役割を果たす。

設問：１
セクション：試験２_問題７～問題17

セクションの残り時間
01:08:47

セクション終了

試験：日本語教育能力検定試験　　受験者名：検定　花子

問１　文章中の下線部Ａに関して、代名詞と副詞の例の最も適当な組合せを、次の１～４の中から一つ選べ。
（※画面下方にある太枠の選択肢を左クリックして解答してください。）

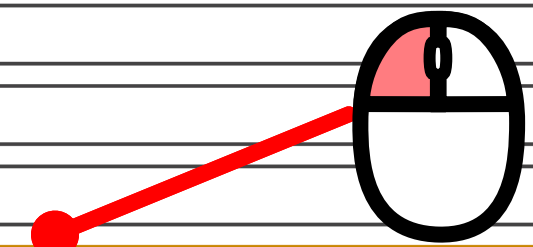
	代名詞	副詞
1	あちら	そんな
2	あんな	こう
3	その	こんな
4	こちら	そう

1

2

3

4



解答方法はこれまでの問題と同じです。選択肢にカーソル(↖)を合わせて、左クリックしてください。



「試験２問題７～17」の試験時間は70分です。70分を経過すると、自動で「アンケート」のページに進みます。「✓ 閉じる」ボタンを左クリックして、アンケートに進んでください。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「アンケート」の画面



アンケートは、**回答の時間を含めて２分**です。「次へ ＞」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックして、回答のページに進んでください。

③ 各画面と基本の操作 （ 試験終了・アンケート）

質問項目

1 職業

2 日本語教育能力検定試験を知ったきっかけ

3 母語

4 居住国･地域

試験終了･アンケート

終了

質問項目は４項目です。アンケートの回答内容は、合否には一切関係しません。

日本語教育能力検定試験 CBT

③ 各画面と基本の操作

「終了」の画面



アンケートが終わったら「終了」画面になります。画面右上にある「終了」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。「終了」ボタンを左クリックしないと採点されません。必ず「終了」ボタンを左クリックして試験を終了してください。



「試験結果は正常に送信されました」の表示を確認し、「終了する」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。

以上が「**全体の流れ**」と

「**各画面・基本の操作**」です。

試験日までによく確認してください。

このほか、

「**ページの拡大**」

「**マーカーを付ける**」

「**取り消し線を付ける**」等の便利な機能があります。

詳しくは「**④ 便利な機能**」の動画を見て、

確認してください。